

プロジェクト研究  
アフリカ農村開発手法の作成

別冊「マリ国セグー地方南部砂漠化防止計画調査」  
フォローアップ調査

平成16年3月

独立行政法人  
国際協力機構

## 序 文

アフリカ諸国では 1980 年代以降、経済の低迷や環境の劣化が進行し、人口の大部分が居住する農村部の貧困が深刻化しています。これに対し、わが国を含む多くの援助国、国際機関、国際 NGO 等が様々な農村開発事業を展開してきました。しかし、アフリカ諸国においては、自然条件、社会条件ともに開発に係る制約要因が多く、開発協力事業の実施環境は一般に他の開発途上地域に比較して厳しく、特に開発調査によって提示された計画の実施が極めて困難な状況があります。このことから、(独) 国際協力機構では近年、アフリカ諸国における開発調査の効果的な活用方法を探るため、様々な試みを実践しております。「実証調査を伴う開発調査」はその 1 つの形態で、開発調査期間にパイロット的にプロジェクトを実施し、その成果を踏まえて開発計画を策定するもので、1999 年以降、アフリカ諸国を中心とした国々で実施しております。

(独) 国際協力機構では、今後のアフリカ諸国における農村開発調査をより効果的に実施するための教訓を得ることを目的にして、2001 年度よりこれらの「パイロット事業を伴う開発調査」のフォローアップ調査を行なってきました。2001 年度の「ケニア共和国バリング県半乾燥地域農村開発計画調査」、2002 年度の「タンザニア国コースト州貧困農家小規模園芸開発計画」に続き、2003 年度には、「マリ国セグー地方南部砂漠化防止計画調査」を対象に、実証調査で実施したパイロット事業が地域に根についていく（あるいは途中で跡絶えてしまう）諸要因についての考察することを主たる目的に、関係者からの聞き取りや現地踏査により調査を行って、教訓として取りまとめました。なお、本調査及び取りまとめは、(財) 国際開発センターが担当しました。

本書が機構職員のみならず、広くアフリカ諸国における農村開発協力に携わっておられる関係各位の一助となることを願っております。

平成 16 年 3 月

独立行政法人 国際協力機構

農林水産開発調査部長

平松 紀延

# 目次

第1章	調査の背景と目的	(鳥海直子)
1-1	調査の背景と目的	1
1-1-1	調査の目的	1
1-1-2	調査の進め方	1
1-1-3	調査方法	1
1-2	調査団構成	2
1-3	現地調査日程	2
第2章	「マリ国セグー地方南部砂漠化防止計画調査」における実証事業の現状と 今後の展望	(清水直也)
2-1	実証事業の現状	5
2-1-1	マリ国セグー地方南部砂漠化防止計画調査実施の背景	5
2-1-2	開発調査の目的	5
2-1-3	M/P 策定の基本方針	5
2-1-4	M/P 実現による目標達成	6
2-1-5	M/P 目標の細分化	6
2-1-6	M/P の基本内容	7
2-1-7	実証事業の実施	10
2-1-8	実証事業の成果と現状	11
2-1-9	実証事業結果の M/P への反映	16
2-1-10	実証事業実施を通じた結論	17
2-2	実証事業の今後の展望	18
2-2-1	事業の持続性	18
2-2-2	事業の波及性	19
2-3	調査から得られた教訓	19
2-3-1	マスタープラン (M/P) 策定に関して	19
2-3-2	実証事業に関して	20
2-4	JICA への提言	21
2-4-1	定期モニタリング・追加指導	21
2-4-2	住民間意見交換会の開催	21
2-4-3	行政の住民支援体制および能力の強化	22

2-5	マリ国における今後の農村開発のあり方.....	22
	(補足資料：地方行政の現状事例) .....	(鳥海直子) 25
第3章	実証事業が根づく、あるいは根づかない要因	
3-1	農業技術の視点から実証事業が普及浸透する要因について (増永二之)	29
	.....	
3-1-1	事業実施に関わる要因.....	29
3-1-2	調査観察結果.....	31
3-1-3	事業の普及浸透と各要因の関係について.....	44
3-1-4	事業の実施レベルと普及浸透について.....	46
3-1-5	技術の適合性について.....	48
3-1-6	まとめ「実証事業の普及浸透について」.....	50
3-2	社会的側面から見た実証事業評価結果の要因と根付き具合について (壽賀一仁)	
	.....	
3-2-1	調査内容.....	52
3-2-2	調査結果.....	55
第4章	まとめ (鳥海直子)	
4-1	「マリ開発調査」実施中に実証事業パフォーマンスに影響を与えた要因.....	63
4-2	今後の課題.....	67
4-3	提言.....	69

## 図表リスト

### [図]

#### 第2章

図 2-1	マスタープラン実現による目標達成概念図	6
図 2-2	事業手順	11
図 2-3	調査全体業務フローチャート	24

#### 第3章

図 3-1	適切的な技術の「開発・選択」、「普及浸透」、「実施」、「効果・影響の確認評価」の流れ	51
-------	--	----

#### 第4章

図 4-1	実証事業の根づきのプロセスー「マリ国セグー地方南部砂漠化防止計画 地方南部砂漠化防止計画調査」の経験からー	64
図 4-2	実証事業の根づきと「5つの資本」ー「マリ国セグー地方南部砂漠化防止 計画調査」の事例からー	65
図 4-3	住民、ドナーによる実証事業の実施期間中のモニタリング案	71

### [表]

#### 第2章

表 2-1	M/P の基本内容	7
表 2-2	実証事業の実績と成果	12
表 2-3	村落別実証事業評価の一覧	14
表 2-4	実証事業評価に影響を及ぼす可能性のあるベースライン条件の評価	15
表 2-5	2003 年度 サンザナ市役所 歳入・歳出計画	26

#### 第3章

表 3-1	調査考察した事業の概要	29
表 3-2	各事業の実施状況の今回調査における所見、事業の普及浸透状況に影響した と考えられる各資本や住民の事業効果の認識に関わる要因	32
表 3-3	調査対象村の実証事業関連データ	54
表 3-4	実証事業の評価結果と相関関係があると思われる要因	61

### [Box]

#### 第3章

Box 1	ミレット改良種子の不使用の理由と使用例	34
Box 2	化学肥料投入による経済的収支バランスの推定 (ha 当たりの収支)	35
Box 3	共有地への植林方法と管理について (D1aba 村の事例)	39

Box 4	土壤保全の技術について	41
-------	-------------	----

[ 写真 ]

第3章

写真 1	ミレット畑における有機資材投入の効果	33
写真 2	灌漑野菜畑（上：井戸水による灌漑畑、下：沼水による灌漑畑）	36
写真 3	ミニ苗畑（Diaba 村）	37
写真 4	植林木の木肌に巣くうシロアリ	38
写真 5	Diaba 村の 2001 年植林地	40
写真 6	等高線石積みによる植生の固定（左）と石積み撤去による土壤侵食	41
写真 7	Euphorbe の生垣（左）と挿し木の様子（右）	42
写真 8	アンドロポゴン	42
写真 9	ミレット畑内に設置された柴垣	42
写真 10	畑不耕起と自然植生の被覆による侵食防止	42